

<シンポジウム>

# YOKOHAMA RE:ACTION 開催のお知らせ

産業とクリエイティブを融合させるための次のアクション

コラボレーション（協働）によって、これからのビジネスや産業の環境変化に対応しながら、あたらしい価値を生むためのプロジェクトがはじまっています。『ビジネス クリエイティブ マッチング』というこのプロジェクトでは、横浜市で実績のある多くの企業と、市内に集積が進んだクリエイターとのコラボレーションをコーディネートしながらあたらしい事業を生み出す試みです。

単純なマッチングサービスではなく、コーディネート・チームが間に入り調整を行うことで、従来の受発注を超えた関係性を構築し、ビジネスに新しい付加価値を生み出すと同時に、クリエイターが活躍する場の創出を目的としています。

今回『YOKOHAMA RE:ACTION』と題したシンポジウムではこれまでの成果と、今後本格的にはじまる「創造産業」「芸術不動産」という二つの軸を中心とした活動についてお伝えします。プロジェクトの要となるコーディネーターやクリエイターが一同に集まり、横浜市の未来のビジネスや産業におけるクリエイションについて、多くの方々とアイデアをシェアする貴重な機会とさせていただきます。

また当日は、これまでに本プロジェクトで制作されたプロダクトの展示も予定しています

開催日時：2014年3月27日（木）14:00-20:00（13:30 開場 / 受付開始）

会場：ヨコハマ創造都市センター3F（横浜市中区本町 6-50-1）

※入場無料、事前申込不要

主催：横浜市文化観光局

ヨコハマ創造都市センター（公益財団法人横浜市芸術文化振興財団）

Website：<http://ycc.yaf.jp.org/event/2014/6463.html>

## 【タイムスケジュール】

14:00 - 14:10 主催者挨拶

14:10 - 14:45 キーノートスピーチ「FABCITYについて」

15:00 - 16:30 クロストークセッション「新しいビジネスのための技術とデザインの掛け合わせ方」

16:45 - 18:15 分科会

- ・創造産業分科会「売れるものをつくるのか？つくったものを売るのか？ ~21世紀のデザイナーの役割」
- ・芸術不動産分科会「創造的な不動産ビジネスで街を切り拓く」

18:30 - 20:00 懇親会（SAKAEによる横浜野菜を使ったフードケータリング）

お申込 / お問い合わせ：横浜市文化観光局創造都市推進課

TEL. 045-671-2288 / Fax. 045-663-1928

E-mail [bk-sozotoshi@city.yokohama.jp](mailto:bk-sozotoshi@city.yokohama.jp)

## プログラム紹介

### 1、キーノートスピーチ「FABCITY について」 ゲストスピーカー：田中浩也 氏

3D プリンタやレーザーカッターを備えたデジタルファブリケーション工房である「ファブラボ」のなかから、地域全体・都市全体の創造性を高めるための「ファブシティ」というプロジェクトへ展開する動きが生まれています。都市型のファブラボは、産業と文化、大学と企業、市民と技術を結び付ける、新しい「創造産業」の一翼を担うことが期待されています。こうした流れを受け、昨年より、慶應義塾大学ソーシャルファブリケーションラボでは、横浜を舞台に、アジアのファブシティを実現するための研究と活動を進めています。本講演では世界と日本のファブシティの動向を展望し、横浜の持つポテンシャルを導きだします。

### 2、クロストークセッション「新しいビジネスのための技術とデザインの掛け合わせ方」

ゲストスピーカー：田中陽明 氏＋広瀬郁 氏＋木下齊 氏

「集合知」を通して多様なデザインを実現しているのが、田中陽明氏が企画・運営している co-lab です。本プロジェクトにおいてはそのノウハウを活かし、既存産業の技術や人材などポテンシャルの高い無形資産とデザインを結びつけるための「翻訳者」として、リサーチ・プロトタイピングを行ってきました。また AIA の木下齊氏は、全国各地で遊休不動産を活用し、地域の若手新規事業者を入居させながらエリアの再生を行ってきました。付加価値生産能力の高い都市型産業が集積することで、エリアの持つ競争力を向上させる民間主導型のまち会社を設立し、経営とネットワーク構築にあたっています。このトークセッションでは、それぞれ進行中のプロジェクト紹介をもとに、創造都市横浜の未来についてのディスカッションと、本プロジェクトを通じた今後の広がりについてもお話を伺います。

### 3、分科会 <後半は「創造産業」と「芸術不動産」というテーマ毎に会場を分けての分科会となります>

創造産業分科会「売れるものをつくるのか？ つくったものを売るのか？ ～21 世紀のデザイナーの役割」

ゲストスピーカー：伊東祥次 氏＋島村卓実 氏

多岐にわたるヒット商品を創出するお二人から、クリエイティビティの発揮、売れるためのマーケティングなど、そのユニークな仕事のあり方についてお話を伺います。林業・製造業などの既存産業の素材・技術の強みを読み取り、新しい価値に変換する方法論や、ユーザーの行動や生活を観察し、そこから声にならないニーズを読み解きヒットする新商品をつくり出す手法など、各々が日々実践されているデザインワークについて意見交換をしていただきます。

芸術不動産分科会「創造的な不動産ビジネスで街を切り拓く」

ゲストスピーカー：木下齊 氏＋佐々木龍郎 氏

「昔は全部埋まっていた。」「1 階に店舗が入っていれば税金と管理費ぐらいいは何とかなる。」「設備とかに金がかかるから上は放置しておくしかない。」建築にとっても、街にとっても、不動産を空気に貸している良いことは何もありません。老朽化した既存ストックに新たなキャッシュ・フローの視点を持ち込み、不動産の創造的活用について議論します。

お申込／お問い合わせ：横浜市文化観光局創造都市推進課

TEL. 045-671-2288 / Fax. 045-663-1928

E-mail bk-sozotoshi@city.yokohama.jp

**登壇者プロフィール****田中浩也 (たなか ひろや)**<http://fabcity.sfc.keio.ac.jp/>

慶應大学環境情報学部(SFC)准教授。マサチューセッツ工科大学建築学科客員研究員を経て、国内初のファブラボを鎌倉に開設、2012年には慶應義塾大学 SFC 研究所ソーシャルファブリケーションラボを設立。2013年には第9回世界ファブラボ会議(横浜)実行委員長。デジタルファブリケーションの可能性を、「技術」と「社会」の両面から研究・実践している。

**田中陽明 (たなか はるあき)**<http://co-lab.jp/>

春蔭プロジェクト株式会社代表/co-lab 企画運営代表。大手ゼネコン設計部を経て、慶応大学大学院(SFC)卒業。都内4拠点にて、クリエイター約300人が集積するコラボレーションスタジオ「co-lab」を運営しながら、その集合知によりクリエイションの可能性を引き出し、まだ開拓されていない様々なクリエイティブ領域のファシリテーションを行っている。

**広瀬 郁 (ひろせ いく)**<http://www.toneandmatter.com/>

株式会社トーンアンドマター代表。東北大学大学院非常勤講師。一般社団法人 デジタルファブリケーション協会理事。外資系のコンサルティング会社と不動産開発のベンチャー会社で勤務後、現職。クリエイティブとビジネスのブリッジングを得意とし、事業・施設・コンテンツなど様々なプロジェクトにプロデューサーとして携わる。書籍に「建築プロデュース学入門」「まちづくり：デッドライン」がある。

**木下 斉 (きのした ひとし)**<http://areaia.jp/>

1982年東京都生まれ。一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンス 代表理事、内閣官房 地域活性化伝道師など。一橋大学大学院商学研究科修士課程修了。高校1年時より商店街活性化事業に携わったのをキッカケに全国各地でのまち再生事業会社に携わる。主な著書は、「まちづくりの経営力養成講座」(学陽書房)、「まちづくり：デッドライン」(日経BP)。

**伊東祥次 (いとう しょうじ)**<http://www.designito.jp/>

1971年東京生まれ。プロダクトデザイナー。NTT InterCommunication Center 調査研究・ワークショップ担当、株式会社良品計画にて企画デザイン室長、欧州事務所商品開発担当部長を歴任。2009年独立、2010年デザイニト株式会社設立。プロダクトデザインを中心に、ブランディング、品揃え立案、商品企画・開発など活動領域は多岐にわたっている。

**島村卓実 (しまむら たくみ)**<http://www.t-shima.com/>

プロダクトデザイナー。PDA 端末から輸送機関、住宅やインテリア、家具、製品デザインなどの分野で活躍している。2003年に杉間伐材「monacca」を発表以来、素材や地域に注目するとともに MoMA での販売を機に、各国のデザイン展示会に参加することで世界市場でのデザインビジネスを展開。グッドデザイン受賞多数。

**佐々木龍郎 (ささき たつろう)**<http://sasakitatsuro.com/>

株式会社佐々木設計事務所代表取締役。神奈川大学、京都造形芸術大学、東海大学、東京藝術大学、東洋大学非常勤講師。千代田区景観アドバイザー。東京建築士会理事。横浜まちづくり倶楽部理事、新港ピア活用協議会代表。建築、地域、調査、教育の領域を跨いで活動。横浜では芸術不動産、海都横浜構想、コレヨコ、UDCY など。

お申込／お問い合わせ：横浜市文化観光局創造都市推進課

TEL. 045-671-2288 / Fax. 045-663-1928

E-mail bk-sozotoshi@city.yokohama.jp

関連イメージ

BUSINESS



CREATIVE



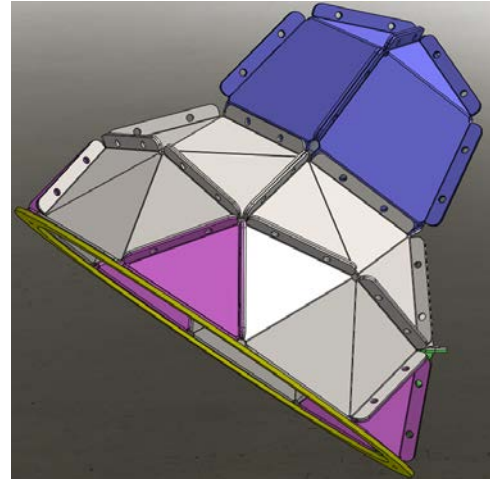
MATCHING



YOKOHAMA  
RE:ACTION



FAB LAB. による試作



FAB LAB. によるモデリングデータ

※ 当日は会場にて、これまでに制作された成果物の展示も予定されています

会場へのアクセス



アクセス :

ヨコハマ創造都市センター

〒231-8315 横浜市中区本町 6-50-1

Tel. 045-221-0325 Fax. 045-221-0215

みなとみらい線「馬車道駅」1b 出口

[野毛・桜木町口 (アイランドタワー連絡口) ]

JR・市営地下鉄「桜木町駅」徒歩 5 分

JR・市営地下鉄「関内駅」徒歩 7 分

※ 当施設には駐車場はございません。

近隣の有料駐車場をご利用下さい。

お申込 / お問い合わせ : 横浜市文化観光局創造都市推進課

TEL. 045-671-2288 / Fax. 045-663-1928

E-mail bk-sozotoshi@city.yokohama.jp